

きなくなりました。中竹さんの挫折のきっかけは僕とは違いますが、僕は中竹さんと同じやり方で立ち直ることができました。

そのやり方は、まず「挫折を受け入れ、味わう」ということでした。これは、それまでの僕が一番出来ていないことでした。僕は、いらだちとあせりのために頭がいっぱいになっていて、「今」の自分を受け入れることができていませんでした。ですが、中竹さんの言葉通り、ありのままの自分を受け入れることによって、気持ち切り替えることができ、心に少し余裕が生まれました。

そして、次に「鳥の眼」。これが僕を救ってくれた言葉です。この言葉は、僕の「どうすればいいのだろう。」という考えにヒントをくれました。「鳥の眼」になり、一旦距離を置いてみると色々なことが見えてくる、まさにその通りでした。僕は部活で卓球をしています。僕のプレースタイルは「カットマン」というものです。「カットマン」というのは、相手の攻撃をとにかく返し守り続けて戦う戦術のことです。僕はその「カットマン」というスタイルから一旦距離を置き、違うことをしてみました。例えば、攻撃。「鳥の眼」で見た僕の攻撃はともいいかげんなものでした。強打したボールは台の上ではなく、相手に向かって一直線に飛んでいっていたのです。そのように、「鳥の眼」で見ることで自分の欠点をいくつも見つけることができました。